



ばとんぱす



教員等記章
(平成16年4月導入)

編集・発行：熊本県教育庁教育政策課
〒862-8609 熊本市中央区水前寺6丁目18番1号
Tel: 096(333)2699
Mail: kyouikuseisaku@pref.kumamoto.lg.jp

県立八代中学校・八代高等学校からグローバル人材を輩出！ 国際バカロレア（IB） の候補校と関心校です

県立八代中学校・八代高等学校は国際バカロレア（IB）*1 ミドル・イヤーズ・プログラム（MYP*2）の候補校*3です。IBワールドスクール（IB認定校）としての認定に向けた申請段階にあります。IBワールドスクールは、「質の高い、チャレンジに満ちた国際教育に信念をもって取り組む」という理念を共有する学校です。本県教育委員会も、このような教育に取り組むことが、生徒にとって大切であると信じています。また令和9年度からの世界的に評価の高い国際教育のディプロマ・プログラムの実施に向けて準備をしています。

*1:国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム。世界の複雑さを理解して、そのことに対処できる生徒を育成し、生徒は未来への責任ある行動をとるための態度とスキルを身に付けることができるとともに、国際的に通用する大学入学資格を付与されます。

*2: 原則として11歳～16歳までを対象としており、学習と社会のつながりを学ばせるプログラム。

*3: IB校には、関心校→候補校→認定校の段階があります。八代中高は令和8年度までに認定校になることを目指しています。

MYPの授業 ～こんな授業を行っています～



中学での教科横断（社会×家庭）的な学び。災害発生の原因を分析後、各家庭の防災計画を作成。



中学英語の授業。写真や絵をもとに英語で要約を作成し、発表後、相互添削。

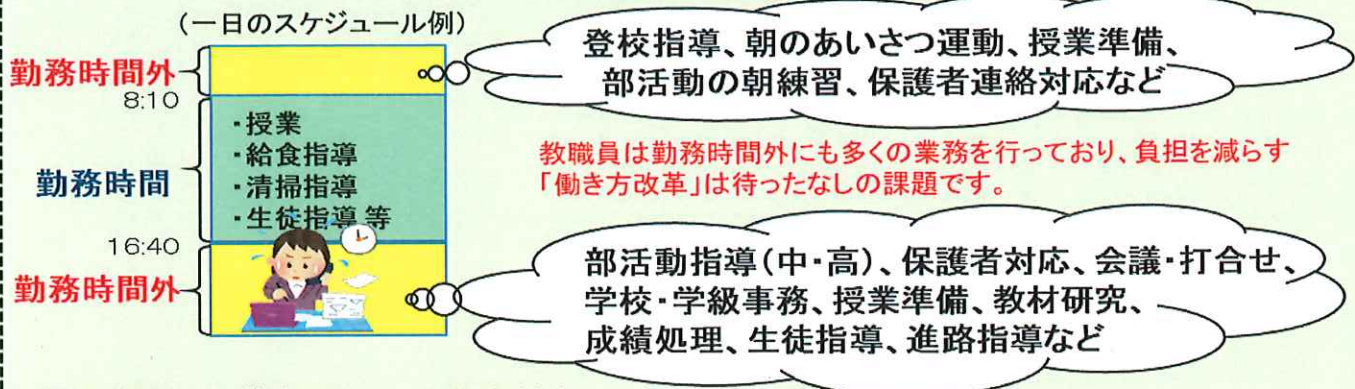
熊本県教育委員会は、県民のIBに対する認知度や関心度の向上と八代中学校・高校のIB認定に向けて、今後も様々な支援を続けていきます。

この記事に関する問合せ先：高校教育課高校魅力化推進室(096-333-2684)

熊本県教育委員会から保護者・地域の皆様へのメッセージ

- 熊本県教育委員会では、**熊本の未来を担う子供たちの育成に向け**、その子供たちを最前線で支える教職員の「ウェルビーイングの向上」に取り組んでいます。
- 教職員が健康でやりがいを持ちながら、本来担うべき業務に専念し、子供たちにより良い教育を行えるよう、「**学校の働き方改革**」への**保護者・地域の皆様の御理解・御協力をお願いします。**

公立学校の教職員の勤務の現状(例)



* 学校や校種により、勤務スケジュールは異なります。

(注) 法律で、『教育職員については、時間外勤務手当及び休日勤務手当は、支給しない』と定められています。



～ 学校における働き方改革の取組例 ～



部活動改革	部活動休養日の設定	週2日以上 of 休養日の設定を進めています。
	部活動の地域移行	中学校の部活動の段階的な地域移行を進めています。
学校行事の見直し等	学校行事の見直し	学校行事の目的や効果を踏まえ、必要に応じて行事の簡素化や縮小・廃止などを進めています。
	登下校の見守り	保護者や地域の皆様と連携した登下校時の見守りを進めています。引き続き、ご理解・ご協力をお願いします。
学校・保護者間の連絡の見直し	時間外の電話対応	勤務時間外の留守番電話による対応を進めています。緊急時を除き、翌日以降の勤務時間にご連絡をお願いします。
	連絡のデジタル化	学校からのお便りやアンケート、欠席・遅刻連絡などのデジタル化を進めています。

【R6.11月改定】

NEW

「熊本県の公立学校における働き方改革推進プラン」(令和6～9年度)

- 熊本県教育委員会では、以下の6つの方針に基づき、学校の働き方改革を推進しています！

1 人材の確保・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の確保 ・ 支援人材等の確保・拡充 等 	2 業務の削減・効率化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校務DXの推進 ・ 授業時数の点検、見直し ・ 部活動改革 等 	3 教職員の意識改革 <ul style="list-style-type: none"> ・ ノー残業デーの取組促進 ・ 部活動休養日の取組徹底 ・ 男性育休、年休取得促進等
4 勤務時間の適正管理等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 勤務時間の適正管理の徹底 ・ 時差出勤制度の試行導入 ・ 勤務インターバル導入検討 	5 保護者の理解促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ P T A 等への働き方改革の取組みの積極的な提供 ・ 地域学校協働活動の推進等 	6 教職員の健康サポート <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働安全衛生法の周知徹底 ・ ストレスチェックの実施 等

プランの詳細は、こちらからご確認いただけます⇒

この記事に関する問合せ先: 教育政策課(096-333-2673)



英語でふるさとのよさを伝えよう！ 肥後っ子ふるさと自慢イングリッシュ・チャレンジ

熊本県では、グローバル人材の育成に向けて、県内の小中学生等を対象にALT（外国語指導助手）と交流する活動を実施しています。「Do you know my hometown?～ふるさと自慢in English!～」のテーマのもと、子どもたちは、ALTに自分が住む地域のよさを英語で伝える活動などを通して、英語によるコミュニケーションの楽しさを実感し、これからの英語学習への意欲を高めていました。



ALTのふるさと自慢を聞いて、様々な国の様子を知ることができました



ALTとコミュニケーションを回りながら、ふるさと自慢の発表内容を練り上げました



県内から集まった友達の発表を聞き、各地のふるさとのよさを発見しました



州立モンタナ大学派遣高校生の発表を聞き、留学への興味が高まりました



最後に、ALTと1対1になり、自分のふるさとを紹介しました。多くのALTとのかかりを通して、徐々に自信をつけ、英語によるコミュニケーションを楽しみました



問合せ先：義務教育課 英語・日本語教育推進室(096-333-2705)

鞠智城シンポジウムを開催しました！

10月27日（日）、九州国立博物館にて、18回目となる鞠智城シンポジウムを開催しました。「大宰府と古代山城・鞠智城」をテーマに、これまでの研究成果の報告とパネルディスカッションを行いました。当日は会場を埋める多くの皆様にご参加いただきました。



（基調講演の様子）



（パネルディスカッションの様子）

鞠智城シンポジウムの発表要旨は「全国遺跡報告総覧」にアップロードされています。ぜひご覧ください。



この記事に関する問合せ先：歴史公園鞠智城・温故創生館(0968-48-3178)

Jersey for my gym clothes,
school bag, indoor shoes
— they all cost money.



Not only the school lunch
fee, there are also the costs
for school excursions and
field trips — they all cost
money, too.



Do you have such worries?

Financial Aid for Educational Expenses system

For families **with children**
in elementary or junior high school

A system for providing financial support to help
cover the costs for **school supplies (notebooks,
pencils, etc.), school lunch fees, school excursions,
etc.**



The expense items,
application period, etc.
may differ according to
each municipality or town,
so for details, ask at the
municipality or district
where you live.



The MEXT website has the contact
information for each municipality.
Check the URL/QR below.

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/05010502/017.htm



たいそうぎ
体操着にジャージ
ランドセルや通学用カバン
上履き...
いろいろなお金がかかるなあ

きゅうしょくひ
給食費だけでなく、
しゅうがくりょこう
修学旅行
や校外活動費もかかるのね！
どうしよう...



このような悩みはありませんか？



しゅう がく えん じょ せい ど 就学援助制度

しょうちゅうがくせい こども かてい
小中学生の子供がいるご家庭に

がくようひんひ えんぴつ
学用品費（ノートや鉛筆など）



きゅうしょくひ
給食費

しゅうがくりょこうひ
修学旅行費



とう し えん せい ど
等を支援する制度です！

ひもく しんせいじき
費目や申請時期など

かくしちょうそん
各市町村によって

こと
異なりますので、

くわ
詳しくは

すま しちょうそん がっこう
お住いの市町村/学校に

といあわ
お問合せください！



もんぶかがくしょう
文部科学省webサイトにて
しちょうそんべつ と あ さきどう
市町村別お問い合わせ先等
けいさい
掲載しております。

かき
下記URL/QRをチェック↓

<https://www.mext.go.jp/a-menu/shotou/career/05010502/017.htm>



公立中学校における部活動の地域移行について

熊本県教育委員会では、令和5年度から公立中学校（熊本市を除く）における部活動の段階的な地域クラブ活動への移行（地域移行）を進めています。

6月号では部活動の地域移行について、9月号では玉名市の地域移行の取組と熊本県地域クラブサポーターバンクについて紹介しました。今回は、文化庁の委託事業を活用し、文化部活動の地域移行に取り組んでいる3市町（南関町・高森町・八代市）の中から南関町を紹介します。

南関町は文化庁の委託事業を活用し、吹奏楽部をきっかけとして、文化部活動の段階的な地域移行に向けて取り組んでいます。

○令和3年度～令和4年度

- ・町部活動検討委員会及び地域部活動指導者会を実施
- ・吹奏楽部において休日の部活動指導を外部指導者が行う取組を実施
- ・顧問教員と地域指導者で一貫した指導を行うための指導者会議の実施

○令和5年度～令和6年度

- ・令和4年度までの取組に加え、生徒の自主・自律的な活動を目指した部活動ワークショップを実施

特色ある取組① 地域指導者による休日の指導

- ◇ 地域指導者が中学校の音楽室を活用して休日に指導できるように、施設セット場所を移設
→地域指導者が音楽室の開錠・施錠が可能
- ◇ 休日の活動の引率・指導
→地域のイベント等を地域指導者も引率・指導



特色ある取組② 生徒が主体的に未来の部活動の在り方について考えるワークショップ

南関町教育委員会が主催するワークショップ。生徒が主体的に将来の部活動の在り方について考え、生徒自身の意識改革をすることで、より良い地域部活移行へと繋げることを目的としている。

活動目標は自分たちで決めたいな。

普段からパート練習は自分たちでやってるよ。



指導者が何でも決めて進めるのではなく、生徒がしたいことなどを伝えて、生徒の意思が反映できる部活動が良いと思う。

部活動の地域移行を持続可能なものにするために、生徒たちの視点を取り入れながら地域クラブ活動への移行に取り組んでいます。南関町の取組の詳細は、右のQRコードから見るができます。（「令和5年度 文化部活動の地域移行等に向けた実証事業事例集」より）



熊本県地域クラブサポーターバンクについて

熊本県教育委員会を設置している「熊本県地域クラブサポーターバンク」は、指導者やスタッフとして参加できる方を募集しています。

令和6年11月末現在で165人の方に登録していただいています。※登録者には、地域移行に関する様々な情報をメールでお届けしています。



←こちらのQRコードから登録フォームへアクセスできます。

この記事に関する 問い合わせ先：運動部活動：体育保健課（096-333-2710）
文化部活動：義務教育課（096-333-2689）

10月25日

令和6年度

幼児教育シンポジウムを開催！

幼児教育と小学校教育の「円滑な接続」を推進するため、幼児教育・小学校教育に関わる方々112名が、「架け橋期」の教育の充実について学び合いました。

シンポジウムでの
パネルディスカッションの様子



就学前教育施設と小学校等、それぞれの立場から「円滑な接続」について語り合いました。

？ “架け橋期”の教育の充実って？

「架け橋期」とは、5歳児から小学校1年生までの2年間を指し、この時期に幼保小が意識的に協働して子供の発達や学びをつなぐことにより、生涯にわたる学びや生活の基盤をつくることが重要とされています。



「幼児教育で培った力を土台にして小学校につなげる」「小学校はゼロからのスタートではない」という意識に変えていく必要があると思いました。

参加者の
感想から

子供たちのために、行政や幼保小の先生など、大人同士が繋がっていく大切さを感じることができました。



この記事に関する問合せ先：義務教育課(096-333-2689)

「円滑な接続」に関する県の取組

- 幼保小中の教員・保育者等が学び合う「幼・保等、小、中連携セミナー」の実施や、幼児教育アドバイザーの派遣を通じた研修等を行い、「円滑な接続」を推進しています！
- 「円滑な接続」に必要な取組について資料の作成・配付をしています！

「幼児期の終わりから小学校入学への円滑な接続」くまもとスタンダード（県教育委員会HP）



道徳教育研究推進校

津奈木町立津奈木小・中学校の研究発表会を紹介します！

研究テーマ 体験活動を基に、よりよい生き方を探る道徳教育の推進



小学校3年生

伝統や文化の尊重、国や郷土を愛する態度
体験活動を振り返り、津奈木町の様々なよさを考えていきました。

令和6年11月21日（木）に、本県の道徳教育研究推進校である津奈木町立津奈木小・中学校において、研究発表会が行われました。公開授業では、体験活動を基にして、児童生徒が自分自身を見つめたり、意見を交流したりしながら、考えを深める姿が見られました。



小学校5年生

勤労、公共の精神

学校生活を振り返りながら、働くことはどういうことなのか考えていきました。



中学校2年生

勤労

職場体験学習等を振り返りながら、何のために働くのか考えていきました。



全体会でのシンポジウム

児童生徒の考えなどを交流することを通して、児童生徒を学びの主体とする道徳科の授業のあり方について考えました。



中学校3年生

伝統や文化の尊重、国や郷土を愛する態度

町役場の方の話を聞き、ふるさとの伝統や文化に込められた思いを考えていきました。

この記事に関する問い合わせ先：義務教育課(096-333-2689)

すこやか子育て電話相談

こども
まんなか

家庭教育に関する悩みや不安を抱える保護者等の方々が気軽にいつでも相談できるよう、平日の夜間及び土曜日の午後に電話相談員を配置しています。

気軽に「子育ての悩み」を話してみませんか？

【電話番号】

096-383-6636

【電話相談の受付時間】

◆月曜日～金曜日 17時～21時

◆土曜日 13時～17時

※日曜・祝日・年末年始と8月13日～15日を除きます。



すこやか子育て電話相談カード

この記事に関する問合せ先: 社会教育課(096-333-2697)

令和6年度(2024年度)文部科学省・熊本県教育委員会指定・御船町教育委員会指定

人権教育研究指定校 御船町立御船中学校研究発表会

令和6年(2024年)11月22日(金)に研究発表会を実施しました

研究主題 学校内での生徒の「居場所づくり」に関する教育実践の研究

御船中学校では、3つの部会をつくって研究に取り組みました

授業づくり部会



「人権が尊重される授業づくりの視点」を整理し、自己存在感を持たせる支援の工夫、共感的人間関係を育成する支援の工夫、自己選択・決定の場の設定の工夫の視点を持った授業実践を行いました。

教科外活動部会



生徒同士のつながりを深めるため、コミュニケーション能力の向上を目指して、SHRの時間を活用したペアトークや、系統的な構成的グループエンカウンター、生徒会活動などを実践しました。

環境づくり部会



生徒が活躍する姿や努力する様子が可視化できる掲示物の工夫や、生徒同士が頑張る姿を相互評価する活動、「居場所づくり」支援シートの活用を通して、生徒の「居場所づくり」に取り組みました。

この記事に関する問合せ先: 人権同和教育課(096-333-2702)



心が揺れ動く瞬間に

何度出会いましたか？

ようこそ本の森へ

宮崎美子名誉館長を招いたイベントをご紹介します

こども本の森 熊本の名誉館長である俳優 宮崎美子さんをお招きしたイベントをピックアップしてご紹介します。このほかにもおはなし会や季節に合わせたイベントを開催しています。当館ホームページやインスタグラムにて情報を発信していますので、ぜひチェックしてくださいね。



4月 オープニングセレモニー

開館を記念したオープニングセレモニーを開催し、名誉館長としてご挨拶いただきました。



7月 クイズイベント

クイズ女王の名誉館長VS参加者グループでクイズの早押し対決をしました。



10月 ハロウィンイベント

名誉館長の読み聞かせやワークショップ、最後はくまモンも駆けつけてハロウィンを楽しみました。

こども本の森 熊本
Kumamoto Children's Book Forest



〒862-8612 熊本市中央区出水二丁目5番1号

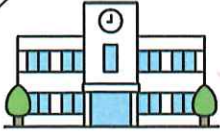
熊本県立図書館南側

☎ 096-240-1500

<https://kodomohonnomori.kumamoto.jp/>

詳しくは
コチラから





令和6年度 熊本県優秀教職員表彰 決定



熊本県教育委員会では、学校教育において顕著又は他の模範となる取組を行っている教職員及び組織を表彰しています。

今年度は、下記の教職員34人及び5組織の表彰を決定しました。

【教職員】マスター部門(49歳以上)

氏名	学校名	主たる功績
井上 万里	宇土市立宇土小学校	国語科を中心とした優れた指導力
野間口 広美	菊陽町立菊陽中部小学校	スーパーティーチャー(社会科)としての優れた指導力
永田 ムツミ	甲佐町立乙女小学校	えがおでつながる学校づくり
橋本 祥子	八代市立太田郷小学校	スーパーティーチャー(算数科)としての優れた指導力
寺川 芳夫	芦北町立佐敷小学校	スーパーティーチャー(国語科)としての優れた指導力
酒井 智美	相良村立相良南小学校	初任者育成に優れた指導力
立山 真一	玉名市立玉陵中学校	生徒指導及び道徳教育に優れた指導力
山部 由美	小国町立小国中学校	音楽科、学校の中核としての指導力
谷上 靖子	上天草市立大矢野中学校	スーパーティーチャー(国語科)としての優れた指導力
田嶋 隆文	熊本県立第二高等学校	SSHの探究の過程をキャリア教育の充実につなげる取組
山村 哲也	熊本県立熊本工業高等学校	部活動(ボクシング競技)における優れた指導力
吉田 浩幸	熊本県立苓北支援学校	特別支援教育の推進、地域への理解啓発に係る取組

【教職員】フレッシュ・キャリア部門(48歳以下)

氏名	学校名	主たる功績
太田 優美	美里町立砥用小学校	校内研修の充実及び授業改善に優れた指導力
櫻原 泰史	南関町立南関第二小学校	スーパーティーチャー(ICT教育、校内研究)としての優れた指導力
志賀 貴美代	西原村立山西小学校	特別支援教育・学習指導を中心に優れた指導力
三宅 恵美	西原村立河原小学校	学習指導及び研究主任としての優れた指導力
本田 美幸	嘉島町立嘉島西小学校	生きる力の育成及び後輩教員の育成に優れた指導力
守田 怜華	山都町立矢部小学校	健康教育や災害時の心のケア等に優れた指導力
田中 ちひろ	人吉市立東間小学校	高い授業力と研究主任としての優れたリーダーシップ
金子 直美	苓北町立志岐小学校	国語科指導に優れた教育実践と研究に貢献
山本 樹慶	宇土市立鶴城中学校	生徒指導、学年経営に優れた指導力
長松 優生子	宇土市立網田中学校	生徒の主体性を引き出す優れた指導力
高岡 良一	宇城市立不知火中学校	基本的資質と専門性に基づいた優れた実践力
前田 健一	大津町立大津北中学校	人権教育を根幹とした実践・指導力
中野 裕大	大津町立大津中学校	数学科を中心とした優れた指導力
越猪 淳	合志市立西合志中学校	生徒指導と部活動運営に優れた指導力
廣瀬 崇行	八代市立第一中学校	生徒指導と若手人材育成に優れた指導力
出口 友理恵	津奈木町立津奈木中学校	養護教諭として不登校や生徒指導対応に優れた指導力
福本 優子	天草市立御所浦中学校	様々な視点からの指導・支援を通じての児童生徒の育成
岸谷 祐太郎	上天草市立龍ヶ岳中学校	社会科教育・起業家教育に優れた指導力
辻 渚	熊本県立玉名工業高等学校	工業化学科を中心とした優れた指導力
大野 美伸	熊本県立甲佐高等学校	生徒会活動の指導による学校の活性化と魅力化の推進
山下 辰徳	熊本県立八代工業高等学校	産学官連携による人材育成における優れたマネジメント力
久野 雅己	熊本県立天草拓心高等学校(本渡校舎)	商業科教育に優れた指導力

【組織】

教職員組織名	構成学校名	主たる功績
合志市立西合志南小学校教職員一同	合志市立西合志南小学校	職員が互いに学び合う研修の場「まなVIVA!!!」
大津町立室小学校特別支援教育部	大津町立室小学校	児童がよりよく生きるための自立活動への取組
高森町教育研究会特別支援教育部会	高森町立高森中央小学校 高森町立高森中学校 高森町立高森東学園義務教育学校	特別支援教育推進のためのICTの活用と自立活動の充実
人吉球磨理科教育研究会	人吉球磨管内小・中・義務教育学校理科担当者及び理科免許保有者	半世紀以上にわたる活動と管内理科教育の推進
熊本県立天草高等学校倉岳校教職員一同	熊本県立天草高等学校倉岳校	「地域に根ざし地域に開かれた学校」としての連携・協働

令和9年(2027年)4月に高校へ入学する生徒から (令和6年度(2024年度)の中学校1年生が受検する高校入試から) 熊本県の県立高校入試が変わります

新しい入試のポイント

- ▶ 現在の前期(特色)選抜と後期(一般)選抜を1回にまとめて、「A日程」として行います。また、現在の二次募集を「B日程」として行います。
- ▶ A日程では、県立高校のすべての学科・コースで「特色選抜」と「一般選抜」を行います。
- ▶ A日程では、すべての受検生が5教科の学力検査(国語・社会・数学・理科・英語)を受検します。また、志望する学科・コースによっては、面接や実技検査などの独自検査も受検します。
- ▶ A日程では、1日目に5教科の学力検査を行い、2日目に独自検査を行います。

現在の入試

令和8年4月入学生まで

前期(特色)選抜

中高一貫教育
(連携型)
に係る入学者選抜

後期(一般)選抜

※追検査を含む

二次募集

新しい入試

令和9年(2027年)4月入学生から

選抜の種類(募集人員)

特色選抜(募集定員の10%~50%)

5教科の学力検査、調査書、独自検査の合計点を使って選抜します。
※独自検査を行わない学科・コースもあります。

一般選抜(募集定員の50%~90%)

5教科の学力検査、調査書を使って選抜します。
※実技検査を行う学科・コースもあります。

検査の内容

1日目：学力検査

(国語、社会、数学、理科、英語)

2日目：独自検査

(面接、作文、実技検査、など)

※病気等やむを得ない事情で受検できなかった場合は、後日、追検査を行います。

総合選抜

A日程の選抜で合格者数が募集定員に満たない学科・コースで行います。

A
日
程

B
日
程

新しい高校入試制度の情報は、ホームページでも公開しています。
<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/list189-57.html>